



3年 山田 寧々

生涯スポーツ政策とKPI*の見直しについて



「第2次川根本町総合計画」で設定されている生涯スポーツ普及を図る指標内容が「社会体育施設利用者数」となっている。施設利用者以外にもスポーツをしている人はいるため、指標内容の見直しが必要ではないか。



生涯スポーツは、現状や今後の方向性から見ても重要な分野であり、スポーツ施設の利用者数は一つの指標である。

次の総合計画策定にあたっては、今回いただいた質問を非常に重要なご意見として検討する。今後も、町民の健康づくりや地域のつながり、定住促進に資する生涯スポーツ施策となるよう、実効性のある指標の設定に努める。



3年 大友 雛

障害者支援について



「第2次川根本町総合計画」で設定した「障害者雇用数」は、現状値が目標値に達していない。目標達成に向けて、今後重点的に行う取り組みは何か。



令和6年度の障害者雇用数は14人となっており、目標値である20人に至っていない。

令和6年度に「輝き体験ウィーク」を実施した。役場をはじめ町内企業、商工会、町内就労継続支援B型事業所が連携し、企業見学や作業体験を行うことで、障害者の就労意欲の向上、選択肢拡大などにつながるきっかけづくりを図った。今後も町内で障害のある方の雇用につながる取り組みを進める。



川根高校2・3年生 高校生議会

1月22日(木)、役場の議場で高校生議会が開かれました。川根高校では、地域の課題解決を学ぶ授業「地生学」の一環として、川根本町第2次総合計画について学んできました。当日は代表10人の生徒が、総合計画の中で着目した施策について学習成果を発表し、町長へ質問や提案を行いました。

今回の議会は、生徒のまちづくりへの関心を高めるとともに、第3次総合計画の内容充実にもつながる有意義な取り組みとなりました。

用語解説

※KPI：施策・事業の進捗状況や効果を検証する際に、達成の度合いを測るために設定する指標



3年 丹田 鮎醒

地域の文化を守るために行っている取り組み



地域の伝統行事や文化活動を守り続けるために、どのような支援や工夫をしているか。



町では、町・県・国の指定文化財の保存・修繕に対する支援のほか、各地区で伝統文化を守る活動を支えるために補助金を交付している。また、若い世代の伝統文化への関心を高め、参加を促進するため、YouTubeでのライブ配信や動画掲載、イラストコンテストなどを実施し、多様な接点づくりにも取り組んでいる。今後も貴重な文化を守りながら、地域の活性化につながる取り組みを進める。



2年 柴 虎鴻

子どもの未来を明るく



「第2次川根本町総合計画」で設定されている「学校が楽しいと思う児童生徒の割合」の現状値が目標値に達していない。「学校が楽しい」と思える児童生徒を増やすため、選択式授業の導入を提案する。



選択式授業の導入は、児童生徒が興味・関心を持てる学びを増やし、学校が楽しいと感じる割合を高める効果が期待できる。

一方、必修科目の時間確保や教員の配置、時間割の調整など、検討すべき課題もある。

現在、自由進学度学習や探究学習など、児童生徒が興味があることに触れる機会を増やし、学習意欲が高まり楽しいと思える学校づくりにつながっていきたい。



2年 長塚 比菜

川根本町の医療体制について



町内外の医療機関と連携し、町民が自宅などからビデオ通話で医師の診療を受けられるようにするオンライン診療を取り入れてはどうか。



診療は、医師と患者が直接対面して行うことが基本であり、オンライン診療は対面診療を補足するものである。かかりつけ医が判断し、患者の療養環境の向上が認められればオンライン診療を実施することができる。

こうした方針のもと、「いやしの里診療所」にて静岡県立総合病院等とオンライン診療を実施している。今後も他の医療機関との連携も図りながら、地域医療の推進に努めていく。



3年 伊達 あおい

「いつでもどこでも健康があるまちづくり」を目指して



最近はスマートフォンを持っている高齢者も多い。家から出ることが難しい高齢者なども日常的に体を動かすことができるような動画を、町のホームページで公開してみてもどうか。



現在ホームページなどに公開している体操動画「100歳まで続けるちょっくら体操」に加え、令和7年10月に「茶Ki茶Ki体操」を作成した。この体操を、全地区巡回して行う「元気いっぱい教室」にて普及を図っている。

また、新たに体操動画を作成する計画もある。今後もさまざまな取り組みを通じて健康寿命の延伸を図り、医療や介護にかかる費用の抑制に努める。



3年 平岡 正多

第3次総合計画に向けた環境施策の改善について



「第2次川根本町総合計画」で設定されている「エコアクション21認証事業所数」は、現状値が目標値に達していない。環境施策と事業者支援をどのように強化していく予定か。



計画で示した施策に関する情報が事業者が届いておらず、支援の効果も十分ではないと考えている。今後は、事業者に対して「分かりやすく」「使いやすい」支援を行う。

また、町全体で環境意識を高めるため「大井川を学ぶ視察会」や「長島ダム環境イベント」を継続して実施している。今後も各課と連携して事業を推進していく。



3年 杉山 詩緒里

林業のKPI*について



「第2次川根本町総合計画」で設定されている農林業の指標について、農業に関する目標指標のみ設定されており、林業の目標指標が記載されていない。林業に関する指標も設定するべきではないか。



林業は育成から伐採の作業を数十年にわたって行う長期的な事業であり、総合計画期間内の短期・中期で目標指標を設定して評価することは難しい面がある。

しかし、「森林整備」や「林道の管理」などの事業量を表す指標であれば設定が可能であると考えられる。今後は、林業家や森林組合との協議の上、目標指標の設定に努める。



2年 高村 莉來

川根本町公式のイベント告知アプリを作りますか？



町で開催されるイベントやお祭りに参加する観光客が少なくなっているように感じる。町公式のイベント告知のアプリやサイトがあれば、観光に来る人が増えるのではないか。



町専用のイベント告知アプリについて、開発費用や更新・管理にかかる負担が大きく、新たに導入することは難しいと考える。

現在、町ではホームページや行事カレンダーにより町の催しを告知している。また、公式LINEに友だち登録をしている方には情報を直接配信している。

今後も町の魅力を町内外の方に伝えていけるよう、高校生の皆さんのアイデアやご意見を聞かせていただきたい。



3年 村松 真桜

自然体験ツアーについて



「第2次川根本町総合計画」で設定されている「自然体験ツアー参加者数」について、現状値が目標値に達していない。町では、どのような自然体験ツアーを行っているのか。



町が行っているエコツーリズム事業は、山・川・里などの地域資源を生かし、四季を通じて幅広い世代が参加できるプログラムを中心に展開している。

現在の参加者数が目標に達していない要因として、コロナ禍の影響や、川根高校生や児童生徒数の減少が考えられる。また、大規模イベントへの依存やPR不足など、改善の余地があるものもある。今後は、年間を通じて継続的に参加したくなる仕組みを整えていく。